

 ライフアートコミュニティ佐保の里 通所介護・訪問介護・居宅介護支援 佐保の里たより 	 	ディサービスセンター佐保の里 〒630-8105 奈良市佐保台2丁目902-241 電話： 0742-70-5020 青山ディサービスセンター 〒630-8101 奈良市青山4丁目3番 電話： 0742-23-1020 菅原ディサービスセンター 〒631-0842 奈良市菅原町298-1 電話： 0742-53-2020 新大宮ディサービスセンター 〒630-8115 奈良市大宮町3丁目4-18 電話： 0742-30-3560 ホームページ http://www.lifeartcommunity.com
---	--	--

「福祉に携わるにあたり・・・」

薫風香る季節となりました。皆様お元気でお過ごしのことと存じます。私は、一年の中でも様々な物事の始まりが交錯する春から初夏に向けての今の季節が体にも心にも心地よく大好きな時期です。私は、昨年の11月からライフアートコミュニティ佐保の里の一員となりました「安藤」と申します。

昨年3月までは、インテリアを扱う商社で管理(人事、総務、労務関係)の仕事を38年間に亘って担当してまいりました。具体的には、人の採用から退職までの間、人材の教育、指導、育成。また、人事制度や賃金体系の構築、会社内外で発生する労務問題全般、会社のコンプライアンスに関する仕事を長年担当してまいりましたが、自らの定年年齢到達に伴い前職を退き、11月より「佐保の里」の一員に加えて頂きました。

人には様々な「出会い」や「ご縁」があります、私が「佐保の里」と結びつく「出会い」は、30数年前に、現「ライフアートコミュニティ佐保の里」長田理事長と前職の会社で出会い、その会社で20数年間を共に働いた「ご縁」がそのきっかけです。これまで勤めていた会社とは、全く関係の無い「福祉業界」に身を置くこととなり、改めてこの業界の必要性・重要性を痛感している次第です。

日本は、世界でも類を見ないぐらい想定を上回る勢いで高齢化が進展し、65歳以上の人は3000万人を超えており(国民の4人に一人)2042年の約3900万人でピークを迎え、その後も75歳以上の人の割合は増加し続けることが予測されます。「超高齢社会」の中、国民一人ひとりが自分の「老い」の問題に直面し、その中で、自分らしい人生を全うする為にも「福祉業界」が果たさなければならない役割は、非常に大きく膨らんできています。

4月より、「佐保の里」では、“学習療法”が導入され「認知症」に対する新たな取り組みが開始されています。また、新規学卒の新入社員2名も加わりました。経験は未熟ですが、若い人たちが福祉の仕事の必要性・重要性に着目し、自分の将来の展望として福祉に身を置く決意をしてくれました。ここでも人と人、人と仕事との出会いを痛感しています。

「佐保の里」は、理念にある地域社会に密着し、介護を望む又は必要とする利用者様に生きる喜びと健康を守るために また、「心」と「体」の「健康」と「癒し」の実現に向け、新たな挑戦をし続けてまいります。

私も微力ながら、その一端を担い精進してまいる所存です。

今後とも皆様からのご協力、ご支援をよろしく
お願い申し上げます。

ライフアートコミュニティ 佐保の里

理事 安藤 聡





菅原デイサービスセンター



菅原道真公生誕の地ともいわれている歴史のある場所で3年前に菅原デイサービスセンターは開設しました。

特徴は男性利用者が多く、一日平均30名のうち約半数を占めています。

囲碁や将棋もさかんに行われており、明るく活気にあふれています。

是非一度お越しくださいませ。

お待ちしております！

センター長 酒井 賢一

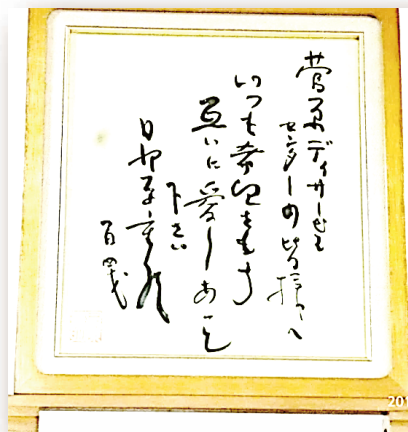
ご利用者が描いてくださった
スタッフの似顔絵です！



学習療法の風景



広い駐車場を利用したの歩行練習



聖路加国際病院 理事長
名誉院長 日野原 重明氏
直筆のメッセージを頂きました



青山デイサービスセンター



青山デイサービスは、木津川市に隣接した緑が多く静かな奈良市の住宅街の真ん中にあります。利用定員数が22名という通常規模で、ご利用様と職員との距離が近くアットホームな雰囲気がある楽しい施設になっております。

外観（送迎時）



全員参加のレクリエーション



リハビリ風景



青山デイサービスセンターのレクリエーションでは、全員参加で実施しており、職員も一緒になり楽しんでおります。また月に1度は、外出レクリエーションを実施しており季節にあった雰囲気を楽しんで頂いています。

海住山寺に初詣
したいです。
しよう。



笠置の桜を見
にいきました。



青山デイサービスに来て頂ければ1日があっという間に楽しく過ぎます。一度見学にお越し下さい。

センター長 谷本 俊宏

自慢のご利用者様

ディサービスセンター佐保の里

奥 辻 吉 隆 様 80歳

平成24年7月から佐保の里をご利用いただき、火曜日、木曜日、土曜日の週3回リハビリに励まれ、みるみる成果が出ておられます。年齢を感じさせないパワーや勢いをお持ちです。



～おいたち～

京都府相楽郡加茂町で4人兄弟の3男としてお生まれになりました。

お父様は「福田龍太郎さん」というお方で、大日本帝国陸軍の師団の一つである、近衛師団(このえしだん)で天皇と皇居を警衛する「禁闕守護」(きんけつしゅご)の責を果たされた立派なお方です。

そんなお父様の背中を見て育った奥辻様は、17歳の頃から大工の仕事に就き、丁稚奉公で3年間、下積み生活を送られた後、親方について6年間修業をされて、婿養子として奥辻工務店を継がれました。

親方として神社仏閣から一般物件まで多数手掛け、ご活躍されていました。

また、「一級技能士」の資格を取得され、昭和35年には「**勲章**」を受章されています。



～「精神力・気力・努力」が大きな成果に～

今から4年前、パーキンソン病の初期症状で歩行が困難な状態だった奥辻様は、ご紹介により佐保の里をご利用いただくことになりました。ご利用当初は、リハビリにも精が出ない状態だったそうですが、ご自身の

「**精神力・気力・努力**」で絶対に良くなるという本心を決めてリハビリに励まれるようになりました。

その結果、杖歩行から今では背筋をピンと伸ばしてスムーズに歩けるまでに回復されました。

「職員さんの献身的なフォローのお陰です」とおっしゃってくださいましたが、丁稚奉公時代の厳しい時代を乗り越えられたからこそ、この4年間の懸命なリハビリも継続され、成果に繋がった

のだと思います。今ではお知り合いの方20名程を佐保の里にお誘いいただき、ご利用くださっています。

「佐保の里が企業としてますます発展するように願っています」と大変嬉しいお言葉をいただきました。



～地域の為に～

地域における消防防災のリーダーである消防団長として20年活動をされ、その後は各消防団のまとめ役である「**奈良市消防友ノ会**」の副会長として、奈良市全域の地域に密着し、今も現役で住民の安心と安全を守るための重要な役割を任されています。



～お元気の秘訣～

朝一番、家から九頭神社まで歩いて行き、「家内安全」をお祈りし、家に帰って「般若心経」を唱えてからが一日のスタートになります。この恒例行事は20年続けておられるそうです。そして、お二人のお孫さんの日々の成長が楽しみで仕方ありませんと、満面の笑みでお話してくださいました。

「**苦労には我慢がつきもの。積み重ねで今がある**」と目頭を熱くしながら、インタビューにご協力いただきました。

これからも心を込めて支援させていただきますので、よろしくお願いいたします。

沢山の貴重なお話をありがとうございました。

インタビュー: 黒瀬

レッドコード

～方向転換～



佐保の里のリハビリリとえばレッドコードですが、4ヶ月毎にメニューを更新しています。毎回、利用者様の日常生活動作に基づいたメニュー作成をしています。4月からは「方向転換」をテーマとして掲げています。

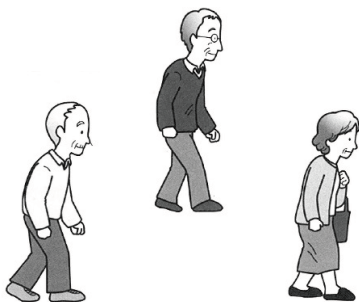
方向転換動作は日常生活で頻繁に行われ、移動中の約40%以上を占めるとされています。単に身体の向きを変えるだけでなく、事前に（歩きながら）路面の状況や障害物等の外部環境を認知して、判断する必要があります。健常者であれば一連の動作を素早く連続的に行うことが出来ますが、高齢者や脳卒中者が同じような動作をしようとすると転倒の危険が高くなると考えられます。

転倒しやすい人の特徴

研究によれば、転倒しやすい人は方向転換動作の前後で立ち位置が大きくずれることがわかっています。このことから、立位姿勢制御能力の低下により、限られたスペースで回転動作を行うことが困難であることや、立位回転動作を行う際に徐々にバランスを崩し、大きく開始位置から離れてしまうことが推測されます。直線歩行や比較的広いスペースでの方向転換動作よりも、その場での回転動作能力が転倒と関連していると言えます。



高齢者の特徴



普段特に意識していませんが、若齢者は平均で3歩以上先を見据えて歩いています。足元に視線を向けなくても、正確な着地ができるからです。

しかし、転倒リスクの高い高齢者は次の足を出す足元に視線が集中して、先読みした歩き方ができないことが多いです。また方向転換時に、支持脚に対して先導脚がクロスしてしまう歩き方、いわゆるクロスオーバーという歩き方になってしまうこともわかっています。クロスオーバー時にはバランスが大きく崩れる心配があります。

転倒リスクの高い高齢者は視線が足元に集中して、先読みした歩行ができないため、このような歩き方になってしまいます。

予防運動としての狙い

佐保の里でも脳卒中による片麻痺の利用者様も多く、皆様の転倒を未然に防ぐことはQOL（生活の質）の維持・向上に欠かせません。実際に利用者様のお話をお聞きしていると、横を向こうとしたときや、振り向いた際に転倒されている方が多いように感じます。転倒によって骨折・入院される方も少なくなく、転倒予防は永遠の課題でもあります。

上記のことも踏まえ、方向転換動作の安定性向上につながる運動メニューを作成しました。体の柔軟性、筋力、立位でのバランス能力の向上等を目的としています。一つ一つのメニューがとても重要な要素を持っています。リハビリを楽しみにして下さっている方も多くおられます。新しいメニューが始まり、気持ちも新たに頑張って取り組んで頂ければと思います。よろしくお願い致します。



ライフアートコミュニティ佐保の里

リハビリ室 室長 谷本 俊宏
理学療法士 上東 剛志

レクリエーション

～2016年 春～



桜は冬の寒さで目覚めた後、春に向かう暖かさで成長し、2月以降の毎日の平均気温を足したその合計が400℃前後となった頃に開花を迎えることが多いそうです。日本のお花見文化は今の世の中で海外からも羨ましがられる文化として定着するようになりました。

桜を見ながらお酒を酌み交わしたり、お団子やお弁当を食べてコミュニケーションを図るだけのものと思われがちですが、それこそが日本の美学だそうです。佐保の里でも春を感じていただこうと、向かいの公園でお花見弁当を実施いたしました。



今年は天候にも恵まれ、満開の桜の元で、沢山の方が楽しくご参加くださいました。



マロンフレンズ



音楽に合わせて、手拍子で場が大変盛り上がりました。
次に演奏に来てくださるのは、
平成29年2月で、大変予約の
取りにくい**大人気のレクリエーション**の一つです。



「太郎と花子」



菅原デイサービスで初めての**民謡♪**
皆さん、民謡の魅力に引き込まれ、
大変盛り上がりました



「人形劇」



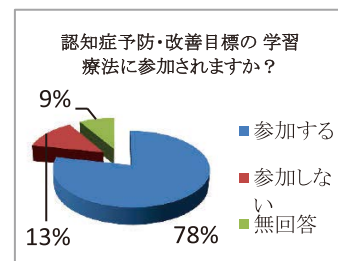
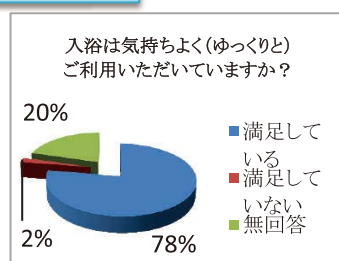
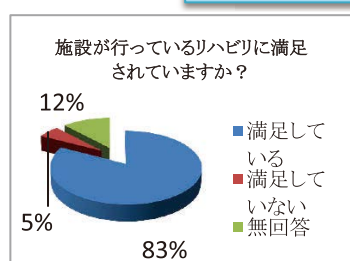
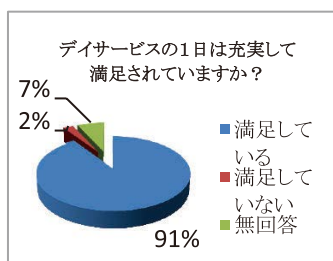
青山デイサービスで行われた**人形劇**
全て手作りで、完成度の高さに
皆さん大喜びされていました

掲 示 板

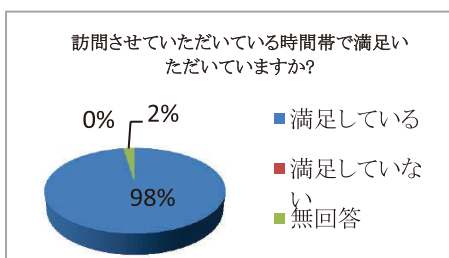
ご利用者様アンケートの実施

平成28年2月に、「佐保の里」グループをご利用頂いていますご利用者様に、佐保の里が実施しているサービス等についてのアンケートを実施しました。今回は、デイサービス4施設のアンケート集計4項目と訪問介護事業所、居宅介護支援事業所各1項目のアンケート結果を掲載させていただきました。数パーセントのご利用者様が‘満足していない’と言うご意見もあり、今回のアンケートを分析し、ご利用者様、ご家族様から頂いた貴重なご意見・要望を真摯に受け止めて、ご利用者様に満足していただけるサービスを実現いたします。また、社会問題となっております認知症予防・改善に積極的に取り組んでいきます。

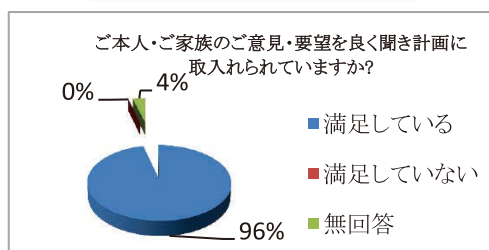
デイサービス



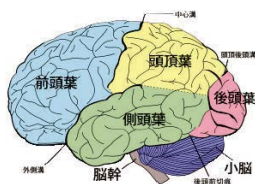
訪問介護事業所



居宅介護支援事業所



学習療法開始1ヶ月・進捗報告



4月1日から佐保の里グループにて公文式の学習療法を開始させて頂いています。

満足して頂ける「サービスの質の向上」を追求するため、新規サービスとして「学習療法」が4施設で開始されましたが、ご利用者様個々には少し変化が見られています。例えば、以前より笑顔が増えた。周りの方に気配りされる様になられた。学習前にはご自分のお名前も書かれるのが難しかったご利用者様が数回の学習でとても丁寧にまた漢字で書かれるようになった利用者もおられます。

また学習後教材を通じて、実践士とコミュニケーションをとる場面ではとても生き生きと昔話をされたりする場面もみられています。

また学習時間をとても楽しみにされて頂き、「今日は何時からするんや」とご自身でデイサービスの1日をとても有意義に過ごされている方もおられます。

今後も様々な良い変化が報告出来る様にマスター、実践士共に頑張ってお参ります。



職 員 の 資 格 取 得



第28回介護福祉士国家試験に合格しました。

心機一転頑張りますので

よろしくお願い致します。

小林 杏子さん
加藤 久美子さん
杉 元 浩 美さん
柿 崎 操 さん

デイサービス職員 介護福祉士
デイサービス職員 介護福祉士
訪問介護事業所 介護福祉士
訪問介護事業所 介護福祉士

取得
取得
取得
取得